

TOWN TOPICS

3.31(日) 決意を新たに伝統を引き継ぐ

平成31年度須恵町消防入退団式が、健康広場で行われました。

今泉前団長ほか8人の前分団長が退団され、稲光団長ほか8人の分団長がそれぞれ辞令を受けました。また、12人の新入団員が誕生しました。

式典では、新入団員の宣誓や団旗および分団旗の引き継ぎが行われ、団員たちは地域防災に対する熱い思いを新たにしました。



団旗引き継ぎ

表彰者(敬称略)

- 退 団 今泉 和則(団長)・原 健太郎(新生分団)・江藤 拓児(須恵分団)・平山 諭(甲植木分団)・早田 剣史(本部分団)・百田 共成(佐谷分団)・中牟田 俊介(上須恵分団)・宮園 勉(新原分団)・稲永 武彦(乙植木分団)
- 新 入 団 員 加藤 聖也(本部分団)・行定 竜希(本部分団)・高須 成生(佐谷分団)・百田 昌実(佐谷分団)・安河内 凌(上須恵分団)・木下 陽介(上須恵分団)・小林 大起(須恵分団)・藤川 直輝(甲植木分団)・久里 啓太(乙植木分団)・合屋 洸平(乙植木分団)・百田 憲斗(旅石分団)・前田 隆太(飛越分団)
- 優良分団表彰 上須恵分団・須恵分団
- 優良団員表彰 松本 竜一(須恵分団)・村山 雄紀(上須恵分団)・今泉 修(甲植木分団)・合屋 征治(佐谷分団)・百田 亮介(佐谷分団)・中山 一也(甲植木分団)・稲永 成洋(乙植木分団)・百田 文和(佐谷分団)・荻 拓也(新原分団)・谷 一輝(飛越分団)・梶山 翔平(新生分団)・岩元 翔太(飛越分団)

TOWN TOPICS 4月 はじめの一步は 笑顔でスタート!

町内小中学校や幼稚園などで、入学式および入園式が行われました。須恵第三小学校入学式では、新入生が在校生と手をつないで入場し、保護者や来賓のあたたかい拍手で迎えられました。新入生は、担任の先生から一人ひとり名前を呼ばれると元気いっぱい返事をしていました。



- 須恵中学校 170人
- 須恵東中学校 131人
- 須恵第一小学校 121人
- 須恵第二小学校 149人
- 須恵第三小学校 96人
- アザレア幼児園 195人
- 南幼稚園 40人
- れいんぼ一幼稚園 37人
- れいんぼ一保育園 141人



- ① 須恵中学校
- ② 須恵第三小学校
- ③ れいんぼ一幼稚園
- ④ アザレア幼児園
- ⑤ れいんぼ一保育園
- ⑥ 南幼稚園

TOWN TOPICS

3.7(木) 町をきれいに。 私たちにできること。

須恵第一小学校で当時3年3組だった子どもたちが、とあるポスターを持ち、町長室を訪れました。ポスターの名前は「須恵町ピカピカ大作戦」。3年3組の子どもたちが川や道にごみが捨てられているのを見て、「町をきれいにするために自分たちができることは何だろう？」と考え、1人ひとりの手で作られたポスターです。

このポスターには、地域の人や学校の友だちに「ごみを捨ててはいけない」という意識を持ってもらい、須恵町をごみのないきれいな町にしていきたいという思いが込められています。

子どもたちの思いがこもったポスターは、各区の公民館などに掲示されます。



TOWN TOPICS

3.10(日) 頂点を目指して

第40回少年武道大会(須恵町体育協会主催)が、須恵中学校体育館を主会場とし開催されました。今大会では、剣道・なぎなた・柔道・拳法道・空手道の5競技が行われ、町内外から小中学生439人が参加し、腕を競い合いました。

各会場では白熱した戦いが繰り広げられ、選手たちは日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。応援席からは、熱い声援と大きな拍手が送られていました。



●大会結果(本町優勝者、最優秀者のみ掲載、敬称略)

なぎなた

- 中学生(試合の部) 山内 杏咲
- 中学生(演技の部) 今津 愛梨・竹川 歩睦
- 小学生(3年生以上うち返しの部) 戸高 ゆり
- 小学生(2年生以下うち返しの部) 小西 成奈

拳法道

- 6年の部 佐藤 遼芽

柔道

- 小学生 3年男子 丸山 喜己
- 小学生 1年女子 宮崎 愛菜
- 中学生 1年男子 中野 大陸
- 中学生 2年男子 片平 巧

剣道

- 幼 年 後藤 悠馬
- 小学1年 野田 健太
- 小学2年 吉松 織乃
- 小学3年 藤田 撰
- 小学4年 大崎 仁羽
- 小学5年 矢野 望佳
- 小学6年 関 慶太郎
- 小学生総合 関 慶太郎
- 中学1年 大崎 友翔
- 中学2年 寺坂 祥
- 中学3年 寺坂 咲紀
- 中学生総合 寺坂 祥

TOWN TOPICS

3.14(木) 学校図書 の充実へ

株式会社ピーエムティー 代表取締役 京谷忠幸さんから、須恵町小中学校5校に対して図書費の寄付をいただきました。

株式会社ピーエムティーは、本社が須恵町にあり、NC微細加工機や半導体製造用装置、セラミックス加工などを行なっている企業です。

本町の子どもたちが本と触れ合う機会をたくさん持てるように、毎年図書費を寄附されています。



京谷社長(左から2番目)を含むピーエムティー社員の皆さんと平松町長(中央)